

平成23年人文学部文化コミュニケーション学科

教員研究業績一覧 (2011. 1. 1—12. 31)

Academic Achievements in 2011:

Department of Culture and Communication, Faculty of Arts

凡例：

氏名 ①著書 ②論文・研究ノート ③翻訳 ④書評・随筆等 ⑤学会・研究会等での報告 ⑥上記以外の業績

日本語文化講座

- 沖 裕子 ①『大阪摂津方言若年層談話文字化資料 付 CD-ROM：一部音声資料・文字化全電子データ』（私家版，Pp. 89，中西彩乃・沖裕子，全編の監修）〔共著〕 ②1) 「第26回研究大会ワークショップ 日本語談話の発想と表現」（『社会言語科学』第13号第2号，社会言語科学会，pp. 138-143, 1, 2, 3, 4, 7章執筆，沖裕子・姜錫祐・趙華敏・西尾純二）〔共著〕 2) 「日本語談話種の分類方法」（修剛主編『異文化コミュニケーションのための日本語教育』高等教育出版社，pp. 553-554，北京）〔単著〕 ⑤1) 待遇コミュニケーション学会「現代日本語における談話的待遇表現」（2011年10月15日（土），招待講演，於早稲田大学）〔単独〕 2) 「日本語談話種の分類方法」（2011年8月21日（日），第10回世界日本語教育研究大会，於中国天津外国語大学）〔単独〕 3) セッション1「認知言語学による日本語研究」座長（第10回世界日本語教育研究大会，2011年8月21日（日），於天津外国語大学，中国天津市）〔共同〕 4) 「アクセントとイントネーションからみる日本語」（2011年9月23日（金），JASSO 事業特別講演，日本語学科4年生対象，於青島農業大学，中国青島市）〔単独〕 5) 「日中対照日本語談話論からみた日本語教育の課題」（2011年9月23日，JASSO セミナー，日本語学科教員対象，於中国青島農業大学，中国青島市）〔単独〕 6) 「現代日本語における談話的待遇表現」（2011年9月26日（月），JASSO 特別講義，日本語学科3年生対象，於北京大学，中国北京市）〔単独〕 7) 「日本語談話論の日本語教科書への応用に際しての課題」（9月26日，JASSO セミナー，日本語専攻大学院生対象，於北京大学，中国北京市）〔単独〕 8) 「文章と談話からみる日本語」（8月2日（土），教員免許状更新講習，於信州大学人文学部）〔単独〕 ⑥1) 日本語教育学会学会誌査読協力者 2) 韓国日本語学会学会誌編集委員 3) 日本語学会評議員 4) 国立国語研究所基幹研究プロジェクト「方言の形成過程解明のための全国方言調査」共同研究者 5) 国立国語研究所独創・発展型研究プロジェクト「大規模方言データの多角的分析」共同研究者 6) 助成金受入；国際交流基金海外インターンシップ事業（2010年1名，2011年1名） 7) 助成金受入；日本学生支援機構 JASSO 帰国外国人留学生研究指導事業（9月21日～9月28日，青島農業大学，北京大学，北京日本学研究中心）
- 渡邊秀夫 ②1) 詩歌の発生論と型——「古今集序」の理解をめぐる（単著。古代文学会

『古代文学』50号・2011年3月。pp.45-62) 2) 仮名散文の創出——古今集仮名序をめぐって(単著。『国文学 解釈と鑑賞』76巻—8号・2011年8月。pp.29-37) ⑥平成22年度～24年度学術振興会科学研究費補助金(基盤研究C)「勅撰和歌集と古代礼楽思想の和漢比較研究」を研究代表者として実施。

坂口和寛 ⑥その他 1)「日本語文法の基礎Ⅰ」(平成23年度松本市中央公民館「日本語ボランティア養成講座—第8回」,平成23年12月10日,松本市中央公民館) 2)「日本語文法の基礎Ⅱ」(平成23年度松本市中央公民館「日本語ボランティア養成講座—第9回」,平成23年12月17日,松本市中央公民館)

白井 純 ①折井善果・白井純・豊島正之『ひですの経 ハーバード大学ホートン図書館所蔵』八木書店2011, p.386 [共著], ②「キリシタン版国字本としての『ひですの経』」(折井善果『キリシタン文学双書 ひですの経 キリシタン研究第48輯』教文館2011所収, pp.198-225) [単著], ⑤1)「『ひですの経』断簡の意義」[「宣教と言語学 第二期」プロジェクト研究会(東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所)2011.5.31 [単独], 2)「キリシタンの日本語学習——落葉集と節用集——」第十回世界日語教育研究大会(中国・天津)2011.8.21 [単独], 3)「松本藩版「兵要録」——活字本から整版へ——」第67回「書物・出版と社会変容」研究会(松本)2011.10.1 [単独], 4)「『落葉集小玉篇』の部首配属からみたキリシタン版の字体認識」漢字字体規範史研究国際シンポジウム「字体規範と異体の歴史」(東京)2011.12.17 [単独], ⑥平成21～23年度科学研究費若手研究(B)「変体仮名の語境界表示機能に関する実証的研究」(課題番号:21720160) [単独]

松本和也 ①『現代女性作家論』(水声社, 268頁) [単著] ②1)「戦後個人史としての『下駄の上の卵』」(『解釈と鑑賞』, 第76巻2号, ぎょうせい, pp.148-153) [単著] 2)「昭和一〇年前後における新人——『作品』・石川淳を手がかりに」(『人文科学論集〈文化コミュニケーション学科編〉』, 第45号, 信州大学人文学部, pp.89-109) [単著] 3)「小栗風葉「耽溺」をめぐる戦略／頓挫」(『文芸研究』, 第171集, 日本文藝研究会, pp.27-39) [単著] 4)「小田嶽夫『魯迅伝』の形成と変容(一九四〇～一九六六)」(『立教大学日本文学』, 第106号, 立教大学日本文学会, pp.94-105) [単著] ④「挿絵画家としての石井鶴三——信州大学所蔵・石井鶴三関連資料の整理から」(『勉誠通信』, 第31号, 勉誠出版, pp.13-15) [単著] ⑤「媒介する／触発される太宰治あるいはモチーフとしての戦場——田中英光「鍋鶴」と太宰治「鷗」」(「太宰治スタディーズ」の会, 2011年9月24日, コラボ産学官プラザ in TOKYO) [単独] ⑥1)「文化 挿絵画家と作家 関係映す手紙 石井鶴三遺品 晶子や介山から(コメント)」(『朝日新聞』, 2011年2月15日, 朝日新聞社, 22面) [単独] 2)「平成23年度高齢者大学校「板橋グリーンカレッジ」前期文学科・太宰治『お伽草紙』を読む」(板橋区, 2011年6月13日・20日・27日・7月4日・11日, 板橋区グリーンカレッジホール) [単独] 3)「『太宰治スタディーズ』の会・石川淳研究会共催研究会(司会)」(「太宰治スタディーズ」の会・石川淳研究会, 2011年9月25日, 青山学院大学) [単独]

渡邊匡一 ④1) 松高生の青春日記展(3月5日～31日, 旧制高校記念館) [監修], ⑤1) シンポジウム「琉球の説話と歴史叙述」コメンテーター(説話文学会例会, 4月23日, 立

正大学) [単独] 2) 袋中を相伝すること (仏教文学会例会, 5月7日, 壇王法林寺)
[単独] ⑥1) 説話文学会委員 (平成19年10月~27年9月) 2) 仏教文学会委員 (平成
22年4月~26年3月)

比較言語文化講座

株丹洋一 ⑥1) 平成21~23年度日本学術振興会科学研究費補助金 (基盤研究C) 「ESDと
ISOの統合による教育効果の高い総合的環境教育プログラムの構築」 (課題番号
21500867) の研究を代表者として実施 2) 講演: 平成23年度信州大学出前講座「童話
『眠れる森の美女』のルーツをたどって」, 2011年12月17日, 文化学園長野高等学校

吉田正明 ②「フランス詩と音楽—フランス・ルネサンス期の詩と音楽の交錯」 (『シャンソ
ン・フランセーズ研究』第3号, シャンソン研究会発行, 2011年11月, 36-54頁) [単著]

④1) 「アラゴンとシャンソン」 (『シャンソン・メモワール』2011年春号, 日仏シャン
ソン協会日本支局発行, アーティスト会員季刊紙, 2頁) [単著] 2) 「キャバレーの美
学」 (『まつもと空中新聞』, まつもと市民・芸術館発行, 2011年11月5日, 3頁) [単著]

3) 「ドーデ作『法王のラバ』 *La Mule du pape* とシャトーヌフ・デュ・パップ」 (『サ・
ヴァ』第41号, 長野日仏協会会報, 2011年6月21日, 2-3頁) [単著] 4) 「ラブレーと
シノン」 (『サ・ヴァ』第42号, 長野日仏協会会報, 2011年9月29日, 1頁) [単著] 5)

「マラルメとシャンパン」 (『サ・ヴァ』第43号, 長野日仏協会会報, 2011年12月14日, 2-
3頁) [単著] ⑤1) 「パリの文芸キャバレーの跡地を訪ねて—バルバラの「レクリュー
ズ」とジャン・フェラ追悼」 (第17回シャンソン研究会で報告, 於信州大学人文学部,
2011年5月27日) [単独] 2) 「フランスルネサンス期の詩と音楽—ロンサールを中心に
して」 (第18回シャンソン研究会で発表, 於神戸大学国際文化学研究所, 2011年10月28日)

[単独] ⑥1) 信州大学人文学部公開講座「夕べのセミナー」第60回記念講演会講師「葡
萄酒のブーケ薫るフランス文学の夕べ」 (於松本市美術館, 2011年3月26日) 2) 「シャ
ンソンとフランス詩トーク (吉田正明先生を囲む会)」 (於小諸カフェ・ギャラリー「サロ
ン・ド・ヴェール」, 2011年5月4日) 3) 日本フランス語フランス文学会2011年度秋季
大会において研究発表司会者 [19世紀4] (於小樽商科大学, 2011年10月8日) 寸評2点

「ヴェルレーヌにおける喜歌劇の実践と影響」 (発表者: 東京理科大学非常勤講師, 倉方健
作氏) 「『イリュミナシオン』の自伝的作品群における「私」と語りの構造について」 (発表
者: 東北大学非常勤講師, 深井陽介氏) 「学会ニュース」第139号5頁, 2011年12月15日発
行 4) 「シャルルプティ・レオ シャンソンコンサート」特別ゲスト「シャンソントー
クと歌」 (於安曇野市交流学習センター「みらい」, 2011年11月19日) 5) 「むたい俊介ア
ワー」出演 (Ustreamにて放映, 「大学における地域貢献—シャンソンとワインによる
地域興し」 (於むたい俊介事務所, 2011年12月3日) 6) 科学研究費補助金 (平成22年度
~24年度) による研究課題「近代フランスにおける文芸シャンソンの諸相と文学との交
錯」 (課題番号22520302) を研究代表として実施 7) 平成23年度信州大学未来プロジェ
クト (学長裁量経費) 「異文化理解・交流促進のための外国語サロン」をプロジェクト・
リーダーとして実施

伊藤加奈子 ②「可能表現の使用に関する日中比較」『信州大学人文科学論集<文化コミュ

ニケーション学科編』45号 p.p.19-33

氏岡真士 ②1) 「試探百二十四回本『水滸』的底本」(『人文科学論集〈文化コミュニケーション学科編〉』第45号, 信州大学人文学部, 1-17頁) [単著] 2) 「三十卷本『水滸伝』について」(『日本中国学会報』第63集, 日本中国学会, 95-109頁) [単著]

鎌田隆行 ②1) «Balzac ou la genèse du texte dans sa matérialité», in Eric Bordas, Jacques-David Ebguy et Nicole Mozet (dir.), les actes du colloque «Un matérialisme balzacien ?», Groupe International de Recherches Balzaciennes, 2011 (publication en ligne : <http://balzac.cerilac.univ-paris-diderot.fr/materialisme.html>) [単著] 2) «Les Paysans de Balzac : leçons de philologie et d'herméneutique d'après l'étude du vicomte de Lovenjoul», Kazuhiro Matsuzawa (dir.), *Entre la philologie et l'herméneutique*, Université de Nagoya, 2011, 83-89 [単著] ④「真野倫平編訳『グラン＝ギニョル傑作選 ベル・エポックの恐怖演劇』(水声社, 2010年11月刊)」、日本フランス語フランス文学会中部支部『研究報告集』35号, 2011, 65-67 [単著] ⑤1) «La genèse des textes publicitaires dans *César Birotteau*», Séminaire Balzac (Institut des textes et manuscrits modernes), 2011.3.5, Ecole Normale Supérieure (France) [単独] 2) 「バルザックにおける諸作品間の生成の統括——『セザール・ピロトー』を中心に」、関西バルザック研究会, 2011. 8. 27, 大手前大学 [単独] 3) «La critique génétique à l'épreuve de la question de l'interprétation», 名古屋大学文学研究科グローバルCOE 第13回国際研究集会「哲学的解釈学からテキスト解釈学へ」, 2011. 12. 11, 名古屋大学 [単独] ⑥1) Groupe International de Recherches Balzaciennes (国際バルザック研究会) 執行部メンバー(2008年3月～) 2) 日本フランス語フランス文学会 学会誌編集委員(2011年4月～) 3) 日本フランス語フランス文学会 中部支部幹事(2011年4月～) 4) シャンソン研究会参与(2011年10月～)

野津 寛 ①『ギリシア喜劇全集<第8巻>群小詩人断片II』, 岩波書店, 2011年2月 [共著] ⑥1) 日仏ギリシア・ローマ学会, 事務局長として講演会を主催, 2011年3月5日(アテネ・フランセ). 2) 日仏ギリシア・ローマ学会, 事務局長として講演会を主催, 2011年7月16日(アテネ・フランセ). 3) 日仏ギリシア・ローマ学会, 事務局長として講演会を主催, 2011年12月17日(アテネ・フランセ).

磯部美穂 ①『スタンダード・ドイツ語文法』(郁文堂, 2011年4月) [共著], 『ドナウ河—流域の文学と文化』(晃洋書房, 2011年4月) [共著] ⑤「辞書にない語をいかにして理解するか—テキスト語としての名詞合成語—」(シンポジウム「入門文法—よく理解・説明できていないこと—テキスト理解を助ける中・上級文法の試み」)(日本独文学会・2011年10月15日・金沢大学) [単独]

英米言語文化講座

清水 明 ②「埋もれた翻訳」(*Cap Ferrat*, 第8号, 日本モーム協会, 53~54) [単独]

④「『モーム語録』と『サマセット・モームを読む』を読んで」(*Cap Ferrat*, 第8号, 日本モーム協会, 63~66) [単独] ⑤「モームと日本モーム協会について」~特別講演会(「英文学の中の人間像」行方昭夫氏)に先立つ関連報告。[単] 信州大学人文学部, 2011年10月8日(土), (講演会)人文学部英米文学講座主催/日本モーム協会共催

飯岡詩朗 ⑥1) 信州大学共通教育 e-learning 教材「映像に関わる著作権・肖像権の基礎」[信州大学 e-learning センターとの共同制作] 2) 信州大学共通教育 e-learning 教材「ドキュメンタリー作品を企画するために必要な少しの遠回り」[信州大学 e-learning センターとの共同制作] 3) 信州大学共通教育 e-learning 教材「映像制作の基本」[信州大学 e-learning センターとの共同制作]

伊藤 盡 ②1) (単著)『『風呂に入る』の英語表現 To Take a Bath は古北欧語からの借入か?』『アイスランドの言語, 神話, 歴史: 日本アイスランド学会30周年記念論文集』麻生出版, 2011. 4, 133-139. 2) 「Gosforth の絵画石碑 "Fishing Stone" とエッダ詩『ヒュミルの歌』: ソールの冒険を古英語話者はどう理解したか(講演要旨)』『日本アイスランド学会会報』31号 [単著] ③1) (単訳) ダニエル・ドナヒュー『貴婦人ゴディヴァ: 語り継がれる伝説』慶應義塾大学出版会, 2011. 10. ⑤1) 「アイスランドの起源と文化の継承」シンポジウム「君はオーロラを見たか?: アイスランドの天国と地獄」2011年3月6日(日) 於東京外国語大学(多磨キャンパス) 2) 'The Origins of the Name "Thrihyrne" in *The Lord of the Rings* in Relation to the Icelandic Sagas.' 46th International Congress on Medieval Studies May 12-15, 2011. 5月12日(木) 於 Western Michigan University 3) 'Old Norse Idiomatic Phrases Incorporated into English' 20th International Conference on Historical Linguistics, July 25-30. 7月29日(金) 於国立民族学博物館 4) 『『ホビットの冒険』の文献学的魔法: Usages of Runes, Magic with Wisdom』日本イギリス児童文学学会 11月20日(日) 第41回研究大会 於中京大学(名古屋キャンパス) ⑥1) 東急セミナー BE 渋谷校「別世界ファンタジー小説を読む」2011年1月~3月 2) 東急セミナー BE 二子玉川校「別世界ファンタジー小説を読む」4月~12月 3) (講演)「英語の歴史と外国語」英語学フォーラム「中高大で sekai を考える」2月12日 於松本市民芸術館 4) (講演)「赤ちゃんからはじめる楽しい ABC」3月23日 於松本市中央図書館 5) (出張講座)「イングランドに移り住んだ海の民ヴァイキングの伝統—山の民と海の民の神話—」信州大学安曇野市連携市民大学 11月9日 於穂高会館 6) (司会) 日本中世英語英文学会研究助成セミナー “Aloud or Silent? Reading Habits from Augustine of Hippo to *Beowulf*” (12月3日 於大東文化大学(板橋キャンパス), 講師 Dr. Daniel Donoghue (Harvard University))

杉野健太郎 ①1) (学術研究書)『映画のなかの社会/社会のなかの映画』, ミネルヴァ書房, 映画学叢書(加藤幹郎監修), 2011年12月25日 (ISBN-13:978-4623061785) [単編著]

⑤1) 群馬大学社会情報学部社会情報学シンポジウム「異文化理解」, 群馬大学ミュージズホール, 2011年2月8日 ⑥1) 講演: 2011年度藤女子大学文学部英語文化学科集中講義公開講演会「アメリカン・ドリームの文化学序説」, 藤女子大学, 2011年9月9日。

2) 講演: 専修大学文学部英語英米文学科学術講演「ギャツビーはなぜグレートか—F・スコット・フィッツジェラルド『グレート・ギャツビー』の21世紀的理解へ向けて」, 専修大学文学部, 2011年10月28日。 3) 学会発表司会: 日本スコット・フィッツジェラルド協会2011年度研究発表会, 2011年10月8日, 関西学院大学, 発表者萩埜亮・西村明代。

4) 学会発表記録: 日本アメリカ文学会中部支部6月例会「ドリーミング・アメリカ—映画『フィールド・オブ・ドリームス』とネイション」, 2010年6月19日, 愛知淑徳大学

星ヶ丘キャンパス、『中部アメリカ文学』第14号(2011年), pp.39-40。5) 記事:「学会誌『映画研究』第5号の編集を終えて」,「日本映画学会会報」第26号 [http://jcs.h.kyoto-u.ac.jp/nl1102.html] [単著]。6) 記事:「第3回(2010年度)日本映画学会賞の選考経過について」,「日本映画学会会報」第26号 [http://jcs.h.kyoto-u.ac.jp/nl1102.html] [単著]。7) 日本映画学会誌編集:『映画研究』第6号(2011年12月)。8) 取材協力:長野放送「土曜はこれダネッ!」(2011年11月12日放送)アップルパイの歴史紹介コーナー。

花崎美紀 ①1)『慣用句を手がかりに行う前置詞の棲み分け研究に基づくモジュール教材の作成と高大連携』(ブイツーソリューションズ) [共著] 2)『言語の間主観性:認知・文化の多様な姿を探る』(早稲田出版会) [共著] ②1)「双方向型中高大連携:内発的動機付けを高めることを通して大学教育の室を高めるための中高大連携」『人文科学論集文化コミュニケーション学科編』45, pp.19-40 [単著] 2)「日本語および英語,それぞれの言語文化に見られる相同性についての一考察:Asの意味論を中心に」『Human Linguistics Circle (人間と言語研究会)』53, p.1 [単著] 3)「間主観性の観点から見るAsの意味論」『言語の間主観性:認知・文化の多様な姿を探る』(早稲田出版会) [単著] 4)「日英語における相同性を考える<有界性>と<無界性>」『英文学研究支部統合号 中部英文学』29, p.409-420 [共著] ⑤1)「日米の出産と育児の実際:言語文化との相同性」桐の木助産師学会, 9月3日, 信州大学医学部 [単独]

芸術コミュニケーション講座

船津和幸 ②「*Lokadharmi and Natyadharmi in Martial Arts*」(『信州大学人文科学研究論集・文化コミュニケーション学科篇』第45号, pp.65-77) [単独] ⑥1) 芸術コミュニケーション講座公開講座「オペラ学・オペラ楽」(第6回)(まつもと市民芸術館共催・テレビ信州助成, 企画・コーディネーター)(まつもと市民芸術館, 2011.1.8) 2) インド祭・ウィーン2011 (Indian Festival, Vienna 2011) シンポジウム「インド舞踊」(パネリスト)(在オーストリア・インド大使館主催, ヴィーン大アウラホール, 2011.3.16), 3) インド祭・ウィーン2011 (Indian Festival, Vienna 2011) シンポジウム「ラージャスターンの伝統音楽」(パネリスト)(在オーストリア・インド大使館主催, ヴィーン大アウラホール, 2011.3.21), 4) Lecture "John Coltrane and Nada-brahman" (ドイツ・ライプチヒ大学インド学・中央アジア学研究所, 2011.6.28) 5) 芸コミ公開講座・講演「カラリパヤットとはなにか?」(人文ホール, 2011.10.14), 6) 講演「これが噂のカラリパヤットだ」(東京大学仏教青年会主催, 2011.10.24)

金井 直 ①1) 遠山公一編『祭壇画の解体学』(「ティツィアーノ《ピエタ》—祭壇画《ピエタ》とフラーリ聖堂内の二作品をめぐって」を分担執筆) ありな書房 [共著] 2) 岡田温司編『ジョルジョ・モランディの手紙』(「ヴェネツィア・ピエンナーレとモランディ」を分担執筆) みすず書房 [共著] 3) 岡田温司監修『ジョルジョ・モランディ』(「モランディと同時代の画家たち」を分担執筆) フォイル ④1)「橋本平八と現代の彫刻(家)」『REAR』第25号 [単著] 2)「大西康明一体積の裏側展」『REAR』第26号 [単著] 3)「石間と林間のあいだ」『Hayashi Takeshi White Rain (Haku-u)』(展覧会図

録) [単著]

北村明子 ①舞踊学の現在—芸術・民族・教育からのアプローチ「舞踊作品における振付とその生成過程」, [共著] 文理閣, pp.99-107. 2011年3月 ⑤学会, 研究会での報告”Dance and Technology” panel discussion&workshop,the Warwick Arts Centre Birmingham 主催, 2011年2月17日 ⑥(舞台作品・振付) 1. 「ジョン・ケージ生誕100年, art complex2011」, (演出・構成・出演), 一柳慧(総合監督), 神奈川県民ホールギャラリー, 神奈川県民ホール主催, 2011年10月29日 2.”ICE project”(構成・演出・振付), The Riley Theater /Leeds, 他 英 国 内10都 市, ACE dance&music 主 催, Art Council England 共催, 2011年10月1日初演～ 3.”Nawate Art night”, 信州大学人文学部学部長裁量・地域文化創造事業, 信州大学人文学部芸術コミュニケーション講座主催, 松本市ナワテ商店街提携, 2011年7月16日 4. ダンス・パフォーマンス HITO」, (構成・演出・振付・出演), 神奈川県立近代美術館 鎌倉館共催, 科学研究費補助金若手研究(B) 研究発表, 2011年1月9日(講演会・レクチャー) ダンス・ワークショップ「戦う身体テクニク—遠くて近いダンスと武術の関係」, Whenever Whenever Festival 2011 ボディー・アーツ・ラボラトリー, アサヒ・アートスクエア主催, 2010年7月10・11日